

ティーマックラタ ディセプトン
選挙の不規則性の6つの重要な側面

エグゼクティブサマリー

本報告書は、主要な争点となる6つの州における選挙不正疑惑の6つの側面を検証することにより、2020年大統領選挙の公正性と完全性を評価している。この評価を行うために使用された証拠には、50件以上の訴訟や司法判決、数千件に及ぶ宣誓供述書や宣言書、さまざまな州の会場での証言¹、シンクタンクやリーガルセンターによる公表された分析、ビデオや写真、パブリックコメント、広範な報道が含まれている。

下のマトリックスは、6つの激戦区の州すべてで、選挙の不正の6つの次元のすべてで有意な不正が発生したことを示しています。この発見は、選挙がドナルド・J・トランプ大統領から盗まれた可能性があるという主張に信憑性を与えています。

	ARIZONA	GEORGIA	MICHIGAN	NEVADA	PENNSYLVANIA	WISCONSIN
Outright Voter Fraud	✓	✓	*	✓	*	✓
Ballot Mishandling		✓	✓	✓	✓	✓
Contestable Process Fouls	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Equal Protection Clause Violations	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Voting Machine Irregularities	✓	✓	✓	✓	✓	*
Significant Statistical Anomalies	✓	✓	✓	✓		✓

✓ = Wide-Spread Evidence * = Some Evidence

本報告書の調査結果から、トランプ・ペンス氏に対抗して選挙を効果的に有利に進めるための協調的な戦略があったのではないかと推測することができます。実際、観測された選挙の不正のパターンは、6つの激戦州で一貫しているため、選挙を完全に盗むというよりも、「投票箱を詰める」ような方法で選挙プロセスを戦略的にゲーム化し、バイデンハリスの切符に有利な状況に不当に傾斜させるための協調的な戦略を示唆している。この報告書のトップラインの調査結果は以下の通りです。

- 証拠の重さと不正のパターンは、誰にとっても、特に主流メディアにとっても、不正や不正の「証拠がない」と主張するのは無責任である。
- 選挙の不正が確認されたために問題となっている投票用紙は、これらの投票用紙の比較的小さな部分であっても違法と裁定された場合、トランプ大統領に有利に結果を左右するには十分以上のものである。

- 6つの激戦区の州はすべて、選挙の不正の6つの側面の大部分、またはすべてを示しています。しかし、各州は「最も重要」と考えられる問題を独自に組み合わせています。別の言い方をすれば、すべての激戦区の州は、同じ、あるいは似たような選挙の不正によって特徴づけられるが、トルストイの「不幸な家族」のように、各激戦区の州は、それぞれ選挙の不正の仕方が異なる。
- これは、一つの「銀の弾丸」の選挙不正ではなく、六つの次元と六つの戦場州をまたいだ千切りによる窃盗だった。
- 増え続ける正当な不平不満の調査を拒否する中で、反トランプメディアとソーシャルメディアの検閲は、アメリカ国民を真実から遮蔽することに加担している。これは、メディアの信頼性と政治体制や共和国の安定性を同時に損なう危険なゲームだ。
- 現在、バイデン・ホワイトウォッシュとなっているものに参加しているジャーナリスト、評論家、政治指導者たちは、選挙の不正の6つの側面を認め、2020年の選挙の真実を見極めるために適切な調査を行うべきです。就任式の日までにこれが行われなければ、アメリカ国民の大部分の支持を欠いた違法な大統領を権力の下に置く危険性があります。
- この報告書で評価された選挙不正の6つの次元を積極的かつ完全に調査することの失敗は、反トランプの主流メディアとソーシャルメディアの検閲だけでなく、立法府と司法府の両方の信号の失敗である。
 - アリゾナ州、ジョージア州、ミシガン州、ペンシルバニア州、ウィスコンシン州の5つの激戦州のうち、アリゾナ州とジョージア州の共和党の知事と州議会の両院で共和党が過半数を占めていた²⁾は、本報告書で提示された選挙不正の6つの側面を調査する権限と機会を持っていた。しかし、これらの政治家たちは、激しい政治的圧力に屈して、憲法上の義務と責任を果たせず、その結果、自分たちの州とこの国、そして自分たちの党の両方を失敗させてしまった。
 - 最高裁判所を含む州裁判所と連邦裁判所の両方とも、アメリカ国民の前に出てきた選挙の不正を適切に裁くことを拒否したことで、アメリカ国民の期待を裏切ってきた。彼らの失敗は、アメリカ共和国に大きな危険をもたらしています。
- もしこれらの選挙の不正が就任式の日までに完全に調査されず、それによって効果的に放置された場合、この国は二度と公正な大統領選挙を行うことができなくなるという非常に現実的なリスクを負うことになる。

1. 序章

選挙日の深夜0時の時点で、ドナルド・J・トランプ大統領は2期目の勝利への道を順調に歩んでいるように見えた。彼はすでにフロリダとオハイオの両方で勝利する可能性があった;

そして、共和党がオハイオに勝たずに大統領選挙に勝利したことはなく、一方で民主党がフロリダに勝たずに大統領に勝利したのは2人だけである。³

同時に、ジョージア州、ペンシルバニア州、ミシガン州、ウィスコンシン州では、トランプ-

ペンスの切符は、実質的で、一見、克服できないほどのリードを持っていました。もしこれらのリードが維持されれば、これら4つの重要な戦場となる州はトランプ大統領を選挙人投票所で294対244の決定的な勝利に導くことになるだろう。

しかし、真夜中になって間もなく、大量の郵送投票や不在者投票が集計に入り始めると、トランプ氏の勝利の赤潮がジョー・バイデン氏を青く染め始めました。これらの郵便投票や不在者投票が集計されたように、ジョージア州、ペンシルバニア州、ミシガン州、ウィスコンシン州での大統領の大きなリードは、単に薄いバイデンリードに消えた。

11月3日夜0時の時点で、表1に示すように、ウィスコンシン州では11万票以上、ミシガン州では29万票以上の差をつけてトランプ大統領がリードしていた。ジョージア州では356,945票、ペンシルバニア州では50万票以上の差をつけていた。しかし、12月7日までは、ジョージア州では11,779票、ウィスコンシン州では20,682票、ペンシルバニア州では81,660票、ミシガン州では154,188票と、トランプ氏が大きくリードしていましたが、12月7日までは、バイデン氏のリードはそそり立つほどの薄さになっていました。

表1：トランプ赤潮がバイデン青に変わる

	GEORGIA	PENNSYLVANIA	MICHIGAN	WISCONSIN
Trump Lead Midnight 11/3	356,945	555,189	293,052	112,022
Biden "Lead" 12/15	11,779	81,660	154,188	20,682

Sources: Associated Press & Edison/Decision Desk HQ
*Midnight based on state's time zone

アリゾナ州とネバダ州でも同じように興味深い展開がありました。選挙の夜、ジョー・バイデン氏がこの2つの激戦州でリードしていたのに対し、ネバダ州では3万票強、アリゾナ州では15万票弱の差であったが、トランプ・キャンペーンの内部調査では、すべての票が集計された時点で、大統領はこの差を縮めるだろうと予測していた。もちろん、このようなことは一度も起こりませんでした。

トランプ氏の幸運の驚くべき逆転劇を受けて、アメリカで最も神聖な機関の一つである大統領選挙制度の公平性と完全性を巡って、全国的な火種が噴出しています。右派や共和党内の批評家たちは、トランプ大統領自身を含め、選挙が盗用されたと主張しています。彼らは、50以上の訴訟、⁴ 何千もの宣誓供述書や申告書、そして、一見すると有罪になるようなビデオ、写真、そしてあらゆる不正行為についての直接の証言で、このような非難の声を裏付けてきました。⁵

左派や民主党内の批評家は、一方で、これらの告発を泣き言を言う負け犬の酸っぱい葡萄のように却下している。これらの批判者の中には、不正行為や不正行為を完全に否定している者もいる。また、いくつかの選挙の不正が存在したかもしれないことを認めながらも、これらの不正は選挙を覆すほど重要なものではないと強く主張している者もいる。

いわゆる「主流」メディアの大規模な反トランプ派のセグメントと、オルタナティブな保守系ニュース・アウトレットの間では、同様のバトル・ロワイヤルが繰り広げられている。ニューヨーク・タイムズやワシントン・ポストのような紙媒体やCNNやMSNBCのようなケーブルテレビのネットワークを含む反トランプ主流メディアのディアスポラ全体で、トランプ大統領に選挙を譲歩することを要求する声の大合唱が繰り広げられている。

これらの反トランプの声は、アメリカ史上最大の政治スキャンダルであることが判明するかもしれないことを調査する勇気のある人、特に自分たちのサークル内の人たちを、同様に素早く非難したり、信用を失墜させたりしてきた。フェイスブック、ツイッター、ユーチューブなどのソーシャルメディアも同様に、選挙の結果を疑問視する勇気のある人を積極的かつ容赦なく検閲している。

対照的に、主にアメリカの保守運動に関連するオルタナティブ・ニュース・アウトレットは、不正行為や不正行為、その他の不正行為が明るみに出てきた多くの問題について、広範で綿密な報道を行ってきました。スティーブ・バノンの「War Room Pandemic」⁶、ジョン・ソロモンの「Just the News」⁷、ラヒーム・カッサムの「National Pulse」⁸、Newsmax⁹、「One America News Network」¹⁰など、事実と速報に飢えているアメリカ人は、このようなオルタナティブな報道を追うことによってのみ、このような重要な情報を見つけることができたのです。

アメリカ国民が民主党や反トランプメディア、ソーシャルメディアが売りにしているものを買っていないことは、世論調査で明らかです。例えば、最近のラスムッセンの世論調査によると"共和党員の62%（62%）が「民主党が選挙を盗んだ可能性が非常に高い」と答えているのに対し、無党派層の28%と民主党員の17%がこの見解を共有していません。¹¹

実際に、バイデンの就任式の後に、選挙が本当に盗まれたことを証明するやむを得ない証拠が明るみに出た場合、私たちは国として、偉大なアメリカ連邦の中心部が保持されなくなるという非常に現実的なリスクを冒すこととなります。

別の言い方をすれば、もし世界史上最大の民主主義国家が自由で公正な選挙を行うことができず、この国の主流メディアが選挙結果に疑問を投げかける証拠が山のようになっていくことを完全に調査しないならばしたがって、この問題の真相を究明することが重要です。それがこの報告書の目的である。

II. 戦場となった6つの州における選挙の不規則性の6つの次元

本レポートでは、民主党候補のジョー・バイデンが僅差でリードしており、熱い戦いが続く6つの主要激戦区において、2020年の大統領選挙の公平性と完全性を評価している。広範な注釈に記載されているように、この評価に使用された証拠には、50件以上の訴訟や司法判決、数千件に及ぶ宣誓供述書や宣言書、様々な州の会場で発表された証言、シンクタンクやリーガルセンターによる公表された報告書や分析、ビデオや写真、パブリックコメントや直接の証言、広範な報道などが含まれている。

この証拠のレビューと分析から、6つの主要な争点となっている6つの州の州ごとに、選挙不正の疑惑の6つの主要な側面が特定され、評価されました。アリゾナ州、ジョージア州、ミシガン州、ネバダ州、ペンシルバニア州、ウィスコンシン州です。これらの6つの次元には、明白な有権者の不正行為、投票用紙の誤処理、争点となるプロセスフェウル、平等保護条項違反、投票機の不正、および顕著な統計的異常が含まれています。

表 2 のマトリックスは、6 つの争点となっている各州における選挙不正疑惑の 6 つの側面のそれぞれの有無の概要を示しています。第1列には、バイデンの勝率と不正選挙による不正投票の可能性があるるとされるバイデンの勝率とともに、6つの次元のそれぞれが列挙されています。マトリックスの2列目から7列目までは、任意の州での選挙不正の有無を示しています。

マトリックスセル内のチェックマークは、選挙の不正の特定の次元の証拠が特定の州で広範囲に存在することを示し、星印は少なくともいくつかの証拠があることを示していることに注意してください。

表2：2020年の6つのバトルグラウンド州における選挙の不正疑惑

	ARIZONA	GEORGIA	MICHIGAN	NEVADA	PENNSYLVANIA	WISCONSIN
Outright Voter Fraud	✓	✓	*	✓	*	✓
Ballot Mishandling		✓	✓	✓	✓	✓
Contestable Process Fouls	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Equal Protection Clause Violations	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Voting Machine Irregularities	✓	✓	✓	✓	✓	*
Significant Statistical Anomalies	✓	✓	✓	✓		✓
Biden "Victory" Margin	10,457	11,779	154,188	33,596	81,660	20,682
Possible Illegal Ballots	>100,000	>400,000	Unknown	>100,000	>600,000	>200,000

✓ = Wide-Spread Evidence * = Some Evidence

マトリックスからすぐに2つの重要なポイントが浮かび上がってくる。第一に、6つの争点となっている州では、重大な不正がどこにでも見られるということです。アリゾナ州だけが、投票用紙の誤操作が蔓延していないのに対し、ペンシルバニア州だけは統計的に有意な異常が見られません。表2のマトリックスの残りの部分は、チェックマークと時折の星の海である。

第二に、図の7列目にあるバイデン氏の疑惑の勝率と8列目にある不正投票の可能性を比較すると、6つの州のうち5つの州で、不正投票の可能性のある投票数がバイデン氏の疑惑の勝率を上回っていることが明らかになるはずである。

例えば、ネバダ州のバイデン疑惑の勝率は33,596票ですが、問題の投票数はその3倍以上です。バイデン氏の疑惑の勝率が10,457票と最も狭いアリゾナ州では、その10倍近い数の不正投票の可能性があり、ジョージア州では、不正投票の可能性に対するバイデン氏の疑惑の票数の比率がさらに高くなっている。

ミシガン州だけが例外である。これは、真の例外である可能性が高いからではなく、ミシガン州の様々なタイプの不正投票がどのように不正投票の可能性に変換されるかの推定が不十分であるからである。

明らかに、このマトリックスに基づいて、今回の選挙がドナルド・J・トランプ氏から盗まれたものかどうかについて、アメリカ国民は明確な答えを得る必要がある。就任式の日までに徹底した調査を行わなければ、多くのアメリカ人が違法なバイデン政権として認識するものに雲と汚点が垂れ込めてしまうだろう。

本報告書の次の6つのセクションでは、選挙不正の疑惑の6つの側面について、それぞれ詳細に検討しています。

III. 露骨な有権者詐称

偽造投票用紙の大規模な製造、贈収賄、投票者の死亡から、重罪犯や不法滞在者などの無資格者による投票、複数回カウントされた投票、州外の不法な投票者による投票に至るまで、明らかな投票者の不正行為は多岐にわたる。表3は、6つの争点となっている州で発生しているとされている様々なタイプの明白な投票者の不正行為の概要を示している。

表3：2020年の大統領選挙での明らかな有権者の不正行為

	ARIZONA	GEORGIA	MICHIGAN	NEVADA	PENNSYLVANIA	WISCONSIN
Bribery	✓			✓		
Fake Ballot Manufacturing & Destruction of Legally Cast Real Ballots	✓	✓		*	*	
Indefinitely Confined Voter Abuses		*			*	✓
Ineligible Voters & Voters Who Voted in Multiple States	✓	✓		✓		
Dead Voters & Ghost Voters	✓	✓	*	✓	*	
Counting Ballots Multiple Times			*	*	*	✓
Illegal Out-of-State Voters	✓	✓		✓	*	

✓ = Wide-Spread Evidence * = Some Evidence

図から、6つの州すべてに異なるタイプの詐欺が存在することがわかります。網羅的なものではなく、例示的なものを用いて、これらの異なるタイプの不正行為をより正確に定義してみましょう。

贈収賄

有権者詐欺の文脈では、贈収賄とは、有権者登録や希望する候補者への投票などの公的行為と引き換えに、汚職的な勧誘、受諾、または価値の移転を意味する。¹² 少なくともネバダ州では、このような贈収賄が行われたことは間違いない。

ネバダ州の事件で驚くべきことは、連邦贈収賄法を無視していることです。シルバーステートでは、バイデン陣営が組織的に行った活動により、ネイティブアメリカンは銀貨ではなく、VISAギフトカードや宝石などの「スワッグ」と票を交換していたようです。¹⁴

偽装投票用紙の製造と合法的に投じられた本物の投票用紙の破壊

偽の投票用紙の製造には、候補者に代わって投票用紙を不正に製造することが含まれます。偽の投票用紙を製造する可能性がある最も不穏な例の一つに、ニューヨークで大きな箱入りの投票用紙を拾い、ペンシルバニアの投票所に届けたと宣誓供述したトラック運転手が含まれます¹⁵。10万枚以上の投票用紙が関係している可能性があり、偽の投票用紙だけでも、キーストーン州のバイデン氏に選挙を揺り動かした可能性があります。

同様にペンシルバニア州では、投票作業員が安全ではないUSBフラッシュドライブを使用して、異常に大量の票のキャッシュを投票集計機に投棄したことを示唆する宣言書と写真があります。結果としての集計は、投票機にスキャンされた郵便投票とは相関がありませんでした。¹⁶

ジョー・バイデンのために偽の投票用紙を製造した最も明白な例は、ジョージア州アトランタのステートファーム・アリーナで起きた可能性があります。犯人の可能性のある人物は監視カメラの映像に写っています。

この話のあるバージョンでは、投票監視員やオブザーバーだけでなく、メディアも、不審な水漏れの後、真夜中に退去するように求められた。部屋が片付けられると、何人かの選挙管理者がドレープのかかったテーブルの下から大きな箱に入った投票用紙を取り出しました。彼らはその後、数万枚に及ぶと推定される偽の製造された投票用紙の集計を進めました。¹⁷

これらの投票用紙が集計された後、バイデン氏の票が大幅に急増したことは、これらの票が処理された後にはっきりと観察できることに注意してください。¹⁸

可能性のある犯罪の不利な証拠のように見えるものにもかかわらず、反トランプメディアのディアスポラの間で、あらゆる懸念を却下する物語の噴出が現れました。これらの白塗り記事によると、これらは正規の認可された投票箱であり、メディアのオブザーバーは退場を求められず、単に自分たちで退場しただけであり、オブザーバーの不在時に投票を数えることは完全に許容されている。あるいは、スピンは、そのように行きます。

もちろん、このような事件は、ジョージア州の司法長官と連邦司法省の両方で十分に調査されるべきである。しかし、そのような調査が行われているかどうかは不明である。一方で、適切な説明がなされていないビデオテープは、選挙の公平性と完全性をめぐる疑心暗鬼の風潮を助長している。

最後に、合法的に投じられた本物の投票用紙が破壊される可能性がある例として、アリゾナ地区の連邦地方裁判所に提出された裁判例からの申し立てがあります。原告は、75,000枚以上の不在者投票用紙が実際に返却されたにもかかわらず、返却されなかったと報告されたと主張しています。これらの不在者投票用紙は、その後、紛失または破棄され（トランプ氏の投票用紙破棄の申し立てと一致）、および／または選挙作業員やその他の第三者が記入した白紙の投票用紙に置き換えられた。²⁰

無期限封じ込められた有権者の罵倒

無期限封じ込められた有権者とは、高齢や何らかの障害のために直接投票することができない有権者のことである。このような無期限封じ込められた有権者に関連して考えられる不正行為には、2つのタイプがあります。

第一の悪用は、高齢者や病弱者の身分や投票権を効果的に乗っ取ることによって、高齢者や病弱者を悪用することである。例えば、ジョージア州では、老人ホーム施設に入所している高齢者の家族が、彼の有権者登録のIDで投票用紙を要求して提出したにもかかわらず、彼の同意なしに行われていたことを発見しました²¹。ペンシルバニア州の同様の状況では、ダウン症の娘と2人の両親が直接投票に行き、娘の同意なしに郵送投票用紙が要求され、提出されていたことが判明しました。²²

第二の種類は無期限監禁有権者の悪用は、少なくともウィスコンシン州では、はるかに重大なものである。いくつかの法廷での申し立てで重要なのは、「無期限監禁」として登録した「不誠実な有権者」が、意図的に「ウィスコンシン州の選挙法を破って、選挙の完全性を保つための写真付き身分証明書の要件を回避した」ということだ。一言で言えば、彼らは有権者証の写真を見せずに投票することができたため、他の方法で行われるよりもはるかに厳しい身分証明書のチェックを受けていたということです。

ある報道記事によると、「デーモン郡とミルウォーキー郡の事務員が、州の写真付き身分証明書の要件を無視する方法として、個人に無期限監禁を利用するように促す違法なアドバイスをした」²³ことで、このような悪用が起こったという。²⁴

ここに、この特定のタイプの選挙不正行為について最も重要なことがある。無期限封じ込められた有権者の定義が拡大されたことを受けて、ウィスコンシン州最高裁判所によって法的に正しくないとして裁定された定義²⁵

無期限封じ込められた有権者の数は、2019年の7万人弱から2020年には20万人を超えるまで急増した²⁶。

無資格者と複数の州で投票した投票者

無資格者には、無資格とみなされた重罪人、未成年者、無登録者、不法滞在者、州外有権者、郵便受けを住所として不法に使用している有権者が含まれます。²⁷

トランプ陣営の法務チームが提出した法廷報告書の中で、首席弁護士のレイ・スミスは、2020年の選挙でジョージア州で投票する7万人以上の無資格者のリストを提供した。²⁸

ジョージア州でも、2万人以上の人々がジョージア州政府に住所変更届を提出したり、州外への転出を示唆したりしているようだ。しかし、これらの明らかに不適格な州外の有権者は、有権者名簿に残り、2020年の選挙で投票したように見える。²⁹

州外の有権者に関する追加データとしては、以下のようなものがあります。80から100

人の自称ブラック・リヴス・マター系の他州のメンバーが、ペンシルバニア州で投票したことを認めている。³⁰

複数の州で投票する有権者については、ある訴訟では、ネバダ州では他の州で投票したことがわかっている有権者から約15,000枚の郵送または不在者投票用紙が届いたと主張している³¹。

ネバダ州では、投票に来た有権者をチェックする際に、投票者がカリフォルニア州とネバダ州のどちらの州の有権者IDを投票資格の証明として受け入れるかについて、投票員の手順が一貫していなかったとされていることに注意するのが有益である。³²

デッドヴォーターとゴーストヴォーター

広範囲に渡る証拠によると、いくつかの主要な戦場となる州では、死亡した有権者による驚くべき数の投票が行われており、あるオカマはブルース・ウィリスの古典的な映画を参考にして、これは「第六感」の選挙だった、死んだ人たちが投票しているのが見える。

例えば、ペンシルバニア州では、トランプ・キャンペーンが実施した統計分析で、有権者名簿と公開された死亡記事を照合したところ、8,000人以上の死亡が確認された有権者が投票に成功していることが判明した。ジョージア州では、選挙の結果を決定する上で、選挙の不正行為のどのようなカテゴリーであっても重要な役割を果たす可能性があることが強調されています。

ミシガン州では、申告書で提供された1つの実体験によると、デトロイトの投票所のコンピューターオペレーターが、1900年に生年月日を持つ有権者の投票集計システムに、何千もの投票用紙の名前と住所を手動で追加していた³⁴。³⁵

ここで、死んだ有権者がリチャード・ニクソンから選挙を奪う上で重要な役割を果たしたということに注目しておくに役にもたつかないかもしれません。ある報告書によると、「3,000人以上の投票者が死者の名前で投じられ、31,000人以上の投票者が市内の異なる場所で2回投票した」とのことです。イリノイ州でのケネディ大統領の勝率は9000票に満たなかった。

ゴースト・ヴォーターとは、「ゴースト・ヴォーター」とは、有権者が登録した住所にはもはや住んでいない有権者の名前で投票用紙を要求して提出する有権者のことで、例えばジョージア州では、2万人以上の不在者または早期投票者が、州を移動した後に投票したとされている。例えばジョージア州では、2万人以上の不在者や早期投票者（バイデン氏の勝率の約2倍）が州外に転出した後に投票したとされている。³⁶

ネバダ州では、ある世論調査員の報告によると、1日に50票もの投票用紙が、以前の住民が退去した家に届けられていたという。³⁷

複数回の投票用紙の数え方

複数回の投票用紙を数えることは、電子投票機の中で投票用紙の束が何度も再スキャンされ、再集計された場合に最も悪質なことが起こります。また、同じ人が同じ日に何度

も投票した場合にも起こりうる。このような特殊な「投票用紙の詰め込み」の証拠は、6つの争点となっている州すべてに存在しています。

例えば、ウィスコンシン州では、投票監視員が複数回、投票用紙を集計機に通しているのが観察された。³⁸

ミシガン州ウェイン郡では、共和党の世論調査員が、投票監視員が投票用紙の束を集計機で3〜4回まで再スキャンしているのを観察した。³⁹

ペンシルバニア州では、ある世論調査員が女性の外見を変えて同じ日に2回投票したのを観察した。⁴⁰

別の投票所作業員は、投票所の一角で投票列に並んでいる人々が投票した後、建物の反対側の別の投票所に来て投票しているのを観察した。⁴¹

さらに別の調査員は、選挙の日に投票機で女性が2回投票しているのを目撃しました。⁴²

IV. 投票用紙の誤植

投票の誤操作は、2020年の大統領選挙における選挙不正疑惑の2番目の大きな次元を表している。表4が示すように、これは争点となっている州にまたがる多面的な問題である。まず、有権者の身元確認が適切に行われていなかったことから、この図を見ていきましょう。

表4：戦場となった州での投票の誤操作

	ARIZONA	GEORGIA	MICHIGAN	NEVADA	PENNSYLVANIA	WISCONSIN
No Voter I.D. Check			*	*		✓
Signature Match Check Abuses		✓		✓	✓	
“Naked Ballots” Lacking Outer Envelope			*		✓	
Broken Chain of Custody & Unauthorized Ballot Handling or Movements		✓	✓	✓	✓	✓
Ballots Accepted Without Postmarks & Backdating of Ballots			*			*

✓ = Wide-Spread Evidence * = Some Evidence

無投票者IDチェック

有権者が直接投票に来たときに、投票員が有権者の身元と登録を適切に確認することは、あらゆる選挙の完全性にとって非常に重要である。しかし、いくつかの激戦区の州では、有権者の身分証明書のチェックが十分に行われていないことを示す証拠が少なくと

もいくつかある。

例えば、ミシガン州では、投票所の議長が、有権者証を提示せずに投票する個人と、運転免許証のコピーだけで投票する個人を認めていた。⁴³

ネバダ州では、投票のために登録を希望しているが、適切なネバダ州のIDや運転免許証を持っていない人に対して、投票所の係員が次のように助言するように指示されていた。このような未登録の有権者は、駐車場の外に出て、自動車局に予約をして、2021年1月までに身元を証明するネバダ州の運転免許証を取得することができる。その後、DMVの予約確認書を紙またはデジタル形式で持参すれば、これで十分に登録が可能となる。⁴⁴

署名マッチングの悪用

投票カウンターが、封筒の外側の署名が有権者の登録記録と一致しているかどうかを確認することで、郵送投票や不在者投票を合法的に確認することも同様に重要である。⁴⁵しかし、ネバダ州、ペンシルバニア州、そして特にジョージア州では、様々な署名照合の不正行為が大きな問題となっていることに注意が必要である。

ジョージア州では、州法に反して、国務長官が民主党との間で、署名照合を2回ではなく1回だけに弱める同意協定を締結しました。署名照合テストのこの違法な弱体化は、ジョージア州で投じられた120万人以上の郵便投票用紙に疑問を投げかけました。⁴⁶

ジョージア州だけが、署名照合チェックの不正が表面化した州ではありません。ネバダ州の法律では、すべての署名と投票用紙を機械ではなく人が確認することが義務付けられています。しかし、クラーク郡の投票者登録所は、Agilisと呼ばれる欠陥のある署名照合コンピュータシステムを使用して、そのようなチェックを行っていた。⁴⁷

後述するように、ネバダ州法に反して機械が人間に取って代わるというこの問題は、Agilisシステムの精度が許容できないほど低く、不正な投票用紙がその画面をすり抜けるのを容易にしているという事実によってさらに悪化した。⁴⁸

ウィスコンシン州では、郵送投票のために義務付けられていた有権者情報の証明書が、州法に反して削減および/または廃止されたことで、署名照合の不正が表面化しました。ある訴訟で指摘されているように、この変更は「州議会の権限を損ない、郵送投票の不正行為を容易にすることで選挙の安全性と完全性を低下させ、ウィスコンシン州選挙法の明確な条項に抵触する標準的なルールのない別のルールを作り、州全体での不在者投票の一律的な取り扱いを妨げた」⁴⁹。

"裸の投票用紙" 外装封筒に欠ける

裸票とは、有権者の署名が入っている封筒がない郵便投票や不在者投票のことです。裸の投票用紙は、投票者の本人確認の唯一の方法であるため、違法である。

裸票の違法受入れは、国務長官（民主党員として登録されている⁵⁰）が、そのような裸票を数えるという誤った「指導」を行った結果、ペンシルバニア州で特に顕著になっているように見える。

このようなガイダンスの発行は、州法に違反しており⁵¹、民主党の政治家がジョー・バイデン氏の投票数を増やそうとした露骨な試みのように見えますが、それは、民主党員が郵送投票で不均衡に投票率が高くなることが明らかだったからです。この事件は、ペンシルバニア最高裁判所がこのガイダンスを却下した際に、国務長官は、選挙管理者が準拠していない郵送投票や不在者投票をカウントしないように指示する新たなガイダンスを発行することを拒否したために、特にひどいものとなっています。⁵²

保管の連鎖の断絶と不正投票の取り扱い・移動

投下された投票用紙の適切な保管の連鎖を維持することは、公正な選挙の要である。適切な監督や監視なしに投票用紙が不正に移送、管理、移動された場合、保管の連鎖は破られます。⁵³

保管管理の問題はすべての投票用紙に適用されますが、郵便投票や不在者投票では、保管管理の連鎖が崩れるリスクが明らかに高くなります。これは、投票用紙がより多くの人の手を通らなければならないからです。

2020年の大統領選挙では、監視されていないドロップボックスの使用（多くの場合違法な使用）が増加したことで、管理の連鎖が崩れるリスクが高まったと考えられます。また、第三者が有権者から投票用紙を拾い、ドロップボックスに届けたり、選挙管理者に直接届けたりする、いわゆる「投票用紙ハーベスティング」の慣行も増加している。

ドロップボックスと投票用紙の収穫の両方が、不正な投票用紙を選挙プロセスに挿入するための悪質な行為者の機会を提供しています。これが非常に深刻な問題であることは、BlackBoxVoting.orgによるこの観察からも明らかです。"法廷では、Chain of Custodyの違反は、証拠を認めることを拒否したり、事件を却下したりする結果になる可能性があります。選挙では、Chain of Custodyの違反は「耐えられない不確実性」をもたらし、裁判所は選挙のやり直しを命じることになりかねません。

投下箱問題の例として、ペンシルバニア州では、州法に違反して、ナザレの投票用紙投下センターの投下箱に投票用紙が不法に投下された。⁵⁵

同様にペンシルバニア州では、無印のジープから出てきた男がビデオテープや写真に映っていたが、その男は、無人の投票箱から投票用紙を取り出して、投票用紙計数センターに持ち込んだ。その男は、監視されていない投票箱に入れるために空の投票箱を持って戻ってくるのが目撃されています。⁵⁶

ウィスコンシン州では、州の選挙委員会は、州全体で不在者投票用紙を収集するために、500個のドロップボックスを違法に配置しました。しかし、これらのドロップボックスは、民主党員の登録率が高い傾向にある都市部に不釣り合いに配置されており、それによってジョー・バイデン氏の立候補を有利にしていました。注：ウィスコンシン州でのドロップボックスの使用は法律で違法とされています。したがって、ドロップボック

スを介して投じられた票は、公認選挙の結果に合法的にカウントすることはできません。⁵⁷

投票ハーベスティングの例として、-この場合はプロセスのフロントエンドで-ペンシルバニア州の老人ホームの住民から25,000票が同時に要求されました。⁵⁸

保管の連鎖が崩れた可能性のある追加の例として、以下のようなものがあります。ウィスコンシン州の中央集計所に大量の不在者投票用紙が封筒を開けた状態で到着したため、投票用紙が改ざんされた可能性がある。それにもかかわらず、それらは計数された。

また、ウィスコンシン州では、選挙作業員が白紙の投票用紙の入った袋を車両に移動させた後、監督なしで車を運転して走り去ったのが目撃されています⁶⁰。

また、先に言及された事例では、トラックの運転手が、ニューヨークからペンシルバニアに大量の偽の製造された投票用紙を移動させたという直接の証言を提供しています。

投票用紙の不正な取り扱いや移動に関する最後の注意点として、違法投票カウンターの問題があります。これらの者は、投票用紙を数えることを法的に許可されていない者、および/または証明されていない者である。

奇妙なケースとして、²⁰¹⁹⁶¹年にカマラ・ハリスの選挙運動の公式カメラマンとして働いていた個人が、ジョージア州フロイド郡で投票用紙のスキャンに関与していたと疑われています。投票用紙カウンターは、大統領選挙では候補者とのつながりを持つことはできません。

消印なしで受理された投票用紙と投票用紙の遡及処理について

争点となっている全ての州で、投票所の職員が消印のない郵便投票や不在者投票を数えることは州法違反となっています。また、投票用紙の受領と集計のための選挙期限に間に合ったとみなされるように、投票用紙の日付を遅らせることも違法である。これらの不正の証拠は、いくつかの争点となっている州で見られます。

例えば、ウィスコンシン州では、ある宣言によると、ミルウォーキーにある米国郵政公社（USPS）の従業員は、2

人の管理職から、遅れて到着した投票用紙の日付を戻して、まだ数えることができるようにするよう繰り返し指示されていたという。⁶²

さらに、USPSはウィスコンシン州で10万枚もの投票用紙の日付を戻していたと主張されている。⁶³

同様に、ミシガン州デトロイトでは、裁判で指摘されているように、投票員が不在者投票を集計できるように投票カウンターに投票日を遡って指示していた。⁶⁴

ある投票監視員はまた、ミシガン州の投票用紙が消印のないまま投票集計機を通過しているのを観察した。⁶⁵

V. コンテスト可能なプロセスファウル

争点となるプロセスファウルは、2020年大統領選挙における選挙の不正行為の第3の次元を表している。このようなプロセスファウルは、6つの激戦州で様々な形で発生する可能性があることが表5に示されています。

表 5: 戦場となった州で争われる可能性のあるプロセスファウル

	ARIZONA	GEORGIA	MICHIGAN	NEVADA	PENNSYLVANIA	WISCONSIN
Abuses of Poll Watchers & Observers	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Mail-In & Absentee Ballot Rules Violated Contrary to State Law		✓			✓	✓
Voters Not Properly Registered Allowed to Vote		✓	*	✓	*	✓
Illegal Campaigning at Poll Locations			*		*	*
Ballots Cured by Poll Workers or Voters Contrary to Law	✓	✓	✓	✓	✓	✓

✓ = Wide-Spread Evidence * = Some Evidence

世論調査員と監視員の悪用

選挙の公平性と完全性の中心にあるのは、オブザーバーが投票用紙の受領、開封、集計を監視するプロセスです。表5を見れば、投票監視員とオブザーバーの不正行為が、6つの激戦地の州すべてで行われていたことがわかります。

ジョージア州⁶⁶、ミシガン州⁶⁷、ペンシルバニア州⁶⁸では、投票監視員やオブザーバーが選挙判事や他の投票作業員によって投票所への立ち入りを拒否された。これは、適切な証明書と身分証明書を提示したにもかかわらずである。

ジョージア州、⁶⁹ ミシガン州、⁷⁰ ネバダ州、⁷¹ ペンシルバニア州、⁷² 共和党の世論調査員もまた、狭い場所に強制的に閉じ込められ、視界が制限された。いくつかのケースでは、この監禁は地元の法執行機関によって強制された。

これら4つの激戦地の州では、共和党の投票監視員もまた、投票カウンターから不当に長い距離を置いて立つように指示されました。ミシガン州では、投票監視員は、投票用紙が処理され集計される部屋の窓にポスターボードを貼り、視界を遮るようにしていました。ペンシルバニア州では、何万もの投票用紙が、投票監視員が全く観察することが禁止されている奥の部屋で処理されました。⁷⁴

これは非常に深刻な問題です。なぜならば、公正な選挙プロセスの最前線を守るのは、これらの世論調査員やオブザーバーだからです。彼らの仕事は、すべての投票用紙が適切に処理され、それに応じて集計されるようにすることです。彼らは次のような質問に答えようとしています。署名の照合プロセスが行われているか？各投票用紙は外側の封筒に入っているのか、それとも裸の投票用紙なのか？投票用紙は集計機で複数回処理されているのか？

世論調査の監視員やオブザーバーが見ることを禁止されたり、許容できないほど遠くから見ることを余儀なくされたりすると、これらの監視員はこれらの質問に正確に答えることができない。したがって、彼らは重要な番犬としての機能を果たすことができません。

郵便投票と不在者投票の規則は州法に反して違反している

ジョージア州では、選挙日の180日以上前に不在者投票を申請した人に30万人以上の投票が認められた。これは明らかな州法違反である。⁷⁵

ペンシルバニア州とウィスコンシン州では、民主党の選挙管理者が選挙日の後、郵送投票と不在者投票の両方を受け入れるように一方的に行動しました。州の共和党は、これは州法に反すると主張している。

ペンシルバニア州では、不在者投票と郵送投票は選挙日の3日後まで受け付けていた。⁷⁶

11月^{7日}、米国最高裁判所は、法的な挑戦を見越して、11月^{3日}を過ぎて到着した約1万枚の不在者投票用紙と郵送投票用紙を、選挙日に到着した投票用紙から分離するよう命じた。⁷⁷

この指示にもかかわらず、11月^{7日}に世論調査員が、デラウェア郡では州法に反して、前日の夜に届いた投票用紙と選挙日に届いた投票用紙が分離されていないと報告した。⁷⁸

ウィスコンシン州の州法は早期投票を許可していません。それにもかかわらず、民主党の本拠地であるウィスコンシン州マディソンの市職員は、200以上の「公園内の民主主義」違法投票所の設置を支援しました。

これらの偽の投票所はバイデン陣営によって宣伝され、サポートされていました。それらは、不在者投票のための証人を提供し、あらゆる点で合法的な投票所のように行動しました。さらに、これらの投票所は、選挙の前の14日間の限られた期間外に投票用紙を受け取っていました(法律では、直接投票または不在者投票が認められています)。これ

らは州法の明らかな違反であった。⁷⁹

正しく登録されていない有権者は、投票を許可されていません。

世論調査員の仕事の一つは、直接会った有権者が合法的に登録されているかどうかを確認し、彼らが言う通りの人物であるかどうかを確認することである。ジョージア、ネバダ、ウィスコンシンの6つの激戦区のうち少なくとも3つの州では、この仕事が効果的に行われていない可能性がある。

例えば、ウィスコンシン州では、当局は投票監視員が投票を申し込んだ人の資格に異議を唱えたり、そのような人の資格の証明を要求したりすることを拒否した。⁸⁰

ジョージア州では、州の記録に投票登録されていない2000人以上の人々が投票したと思われる。⁸¹

ペンシルバニア州では、投票監視員が有権者登録簿に名前が記載されていない個人を、投票監視員が誰も見ていない別の場所に連れて行くのを観察しました。そこで、明らかに登録されていない有権者は、選挙判事に会って、「これがあなたの名前だと言えば、投票できる」と言ったと言われている。

投票所での違法選挙運動

世論調査員は政治的に中立を保つことになっています。投票所で投票作業員が、ある政治的候補者に偏見を示す場合、これは州法に反しています。残念なことに、この法律は、ミシガン州、ペンシルバニア州、ウィスコンシン州で繰り返し違反されているようです。

例えば、ペンシルバニア州では、投票員が「有権者保護」と呼ばれるグループのパフォーマンズを着けていました。これは、ペンシルバニア州の民主党の再選挙を専門とする100%民主党が資金提供している政治活動委員会であり、その付属品の着用は、投票所での違法な選挙運動を構成しています。⁸³

ミシガン州で行われた同様の違法選挙運動では、投票所の労働者がブラック・リブズ・マターのシャツを着ることが許され、オバマ大統領のグッズが入ったトートバッグを持っているのが目撃されています。⁸⁴

さらに、バイデンとオバマのキャンペーンシャツを着た投票員は、投票所での投票用紙の計数を許可されていました。⁸⁵

ウィスコンシン州では、バイデン陣営の代表者がクリップボードを持って外に出て、投票に向かう有権者に話しかけていました。彼らは明らかに選挙運動の禁止区域内にいた。投票所の職員は、オブザーバーの反対にもかかわらず、この違法な選挙運動に対処するために何もしませんでした。⁸⁶

投票用紙は法に反して投票員や有権者に治される

所定の状況下では、投票所の作業員と有権者の両方が、間違いや不一致のある投票用紙

を修正することがあります。このプロセスは「投票用紙の養生」として知られている。

19

の州では、投票用紙に誤りや不一致があった場合、投票員は投票者に通知し、投票が数えられることができるように

「修正」または誤りを修正することを許可しなければならない。⁸⁷

しかし、修正を許可していない州では、署名の欠落や不一致などの不一致がある投票用紙は廃棄されなければならない。⁸⁸

ペンシルバニア州では、州法に反して、投票用紙の修正や「修正」を有権者に許可するように投票作業員が訓練されていた。⁸⁹

ある法廷への提出書類によると、ペンシルバニア州の民主党が支配する郡は、選挙日前に「郵送されてきた投票用紙に不備がないかどうかを確認する」という事前投票活動に参加していたという。有権者はその後、投票用紙を修正できるように通知されたが、これは州法の明らかな違反である。⁹¹

違法に修正された投票用紙の例は他にも数多くある。例えば、ウィスコンシン州では、選挙オブザーバーの反対にもかかわらず、何万もの投票用紙が修正されたり、修正されたりしているのが観察された。⁹²

ペンシルバニア州では、投票作業員が、様々な誤りのある約4,500枚の投票用紙をビンに分類しました。その後、投票作業員は4500枚の投票用紙を、州法に反する行為である集計機で読めるように再記入しました。⁹³

ミシガン州では、投票用紙の外側の封筒に記載されている日付を、投票用紙を数えることができるように変更していた。⁹⁴

ミシガン州の世論調査員はまた、白紙の投票用紙に記入して、「有権者が意図した」と思われる投票用紙に基づいて、郵便投票や不在者投票を「修正」していた。

VI. 均等保護条項違反

均等保護条項は、米国憲法修正第14条の一部であり、アメリカ共和国の基本的な柱である。この平等保護条項は、いかなる国家も、その統治法による市民の平等な保護を否定してはならないと規定している。⁹⁶

表6は、2020年の大統領選挙における3つの主要な平等保護条項違反疑惑を示している。表が示すように、それぞれの違反は、6つの激戦区のすべての州で発生していることが観察された。

表6：6つのバトルグラウンド州における平等保護条項違反

	ARIZONA	GEORGIA	MICHIGAN	NEVADA	PENNSYLVANIA	WISCONSIN
Higher Standards of Certification & I.D. Verification Applied to In-Person Voters	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Different Standards of Ballot Curing	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Differential & Partisan Poll Watcher Treatment	✓	✓	✓	✓	✓	✓

✓ = Wide-Spread Evidence * = Some Evidence

直接投票者に適用される認証と身分証明書の高い基準

最初の主張されている違反は、郵送投票や不在者投票の投票者よりも対面投票の投票者の方が高い認証基準と有権者確認の基準を適用していることに焦点を当てている。事実上、トランプ大統領は郵送投票や不在者投票よりも対面投票の投票者の割合がはるかに高かったため、これらの高い基準はジョー・バイデン氏の立候補を不均衡に有利にしていた。実際、郵送投票と不在者投票では、州によっては4票のうち3票の割合でジョー・バイデン候補に大きく偏っていた。⁹⁷

ここで注意してほしいのは、不正行為と投票用紙の誤操作の疑惑の多くは、郵送による投票者と不在者投票に焦点を当てていたということだ。したがって、これらの有権者の精査のレベルが低ければ低いほど、ドナルド・トランプ氏に比べてジョー・バイデン氏の不正票がより多く流入する可能性がある。ここで注意すべきなのは、このような平等保護条項違反は、投票監視員が有意義な観察を拒否されたことによって、さらに可能になったということである。

おそらく、この特別な平等保護条項の違反の最も痛ましい例は、ジョージア州とミシガン州で発生した。例えば、ジョージア州では対面での投票には身分証明書が必要であり、ミシガン州では身分証明書なしでの仮投票のみが認められています。しかし、ジョージア州とミシガン州の両方では、以前の選挙ですでに登録している人であれば、郵送での投票には有効な身分証明書は必要ありません。

これらの手続きは詐欺のために熟している。実際、選挙詐欺師が過去の選挙では投票したことがあるが、最近の選挙では投票していない有権者を標的にしていたという証拠がある。このような詐欺師は、このような投票頻度の低い有権者に代わって投票を行い、捕まる可能性はほとんどなかった。しかし、多数の宣誓供述書には、投票所に投票に来た人が、すでに投票したことが記録されていると知らされただけで、投票に来た人の詳細が記載されている。そのような宣誓供述書は、少なくとも14人のジョージア人によって作成されています。

さらに、ウィスコンシン州では、割り当てられた封筒の位置に適切に置かれた立会人の署名がないまま、郵送による投票が受け入れられた。⁹⁸

対面投票に匹敵するプロセスであれば、投票は無効となっていたらう。

バロット硬化の異なる基準

均等保護条項の第二の重大な違反として、同様に6つの激戦区のすべての州で観察されたのは、投票用紙の間違いを修正するための異なる基準（投票用紙の養生）が、州内の異なる管轄区域間で適用されていたことである。多くの場合、民主党員が多数を占める管轄区域は、共和党員が多数を占める管轄区域よりも、投票用紙の養生を許すことについてより広範囲に及ぶことが多かった。

ペンシルバニアでは、共和党の郡と民主党の郡では、投票用紙がどのように処理されたか(または処理されなかったか)に明確な違いがありました。ペンシルバニア州のキャシー・ボックバー国務長官が、郡に投票用紙の処理を許可する違法なガイダンスを発行したとき、この違法なガイダンスは、少なくとも8つの異なる共和党郡では守られなかった。⁹⁹

一方、民主党の郡では、この違法な指導の下で投票用紙が処理されていました。¹⁰⁰

アリゾナ州でも同様に、直接会って投票した人と郵送で投票した人の扱いには明確な違いがあった。一方、郵送による投票者は、選挙日前に送信された無効な郵送投票用紙を「処理」または「修正」するのに最長5日間の猶予があった。¹⁰¹

一方、例えばマリコパ郡の対面式投票者は、電子投票機の適切な操作方法を知らない投票所員に対処しなければならなかった。その結果、何千人もの対面投票者が誤った印を付けられ、治るどころか無視されることになった。¹⁰²

差動と党派別世論調査員の扱い

ほとんどの州では、政党候補者や投票問題委員会は、投票監視員やオブザーバーを任命して、投票の集計プロセスを監督することができる。¹⁰³

このような投票監視員と監視員は、投票所で職務を遂行するためには、有権者として登録されており、選挙判事に証明書を提示しなければならない。¹⁰⁴

このような公認の世論調査員は、政党の所属に関係なく、適切な距離で自由に観測することができるはずである。しかし、民主党の重要な拠点であるウィスコンシン州のデーブ郡や、バイデンの得票数が多かったミシガン州のウェイン郡などでは、共和党の世論調査員や監視員は、投票所への立ち入り拒否から嫌がらせや脅迫に至るまで、異なる扱いを受けることが多かった。

例えば、ジョージア州では、公認の世論調査員が、投票所で他の世論調査員が、政党の所属を理由に彼女に話しかけてはいけないと話しているのを目撃した。ペンシルバニア州では、共和党員の投票監視員が政党の所属を理由に嫌がらせを受け、投票所から追い出された。¹⁰⁶

ウィスコンシンでは、共和党員の投票所が共和党員を入れないという事実のために、共和党員の投票監視員が観測を妨げられた。¹⁰⁷

ここでは、（前のセクションで議論された）公認投票監視員へのアクセスを拒否することに関連するプロセスの反則の問題と、そのような拒否、嫌がらせ、脅迫が政党の所属によって異なる場合に生じる平等保護条項の違反との間の相乗効果に注意してください。

VII. 2020年選挙の投票機の不正

おそらく、テクノロジーが諸刃の剣であることを示す装置は、50州すべての投票用紙を集計するために使用されるようになった機械とそれに付随するソフトウェアに勝るものはないだろう。¹⁰⁸

投票機器の種類には、紙の投票用紙を処理するために使用される光スキャナー、有権者が選択肢を直接入力するために使用できる直接記録型電子システム、人間が読める投票用紙を作成するための様々なマーキング装置などがある。¹⁰⁹

2020年の大統領選挙では、主に2つのタイプの投票機の不正が疑われている。表7が示すように、これらのタイプの不正は、大規模な投票機の不正確さとともに、不可解な票の入れ替わりや票の急増などが含まれており、ジョー・バイデン氏を支持することが多い。

表7：2020年の投票機の不規則性

	ARIZONA	GEORGIA	MICHIGAN	NEVADA	PENNSYLVANIA	WISCONSIN
Large-Scale Voting Machine Inaccuracies	✓		✓	✓		
Inexplicable Vote Switching and Vote Surges In Favor of Biden	✓	✓	✓			

✓ = Wide-Spread Evidence * = Some Evidence

大規模投票機の不正確さ

28の州に投票機と機器を提供しているドミニオンという会社の影の起源については、多くのことが語られてきた。¹¹⁰

評論家によると、ドミニオンのルーツは、ベネズエラの独裁者ウゴ・チャベスが偽の選挙を不正に行うために行った活動にあるのではないかとされている。¹¹¹

ドミニオンはまた、クリントン財団との関係も疑われている¹¹²。一方、ドミニオンの投票機に使用されているスマートマティックのソフトウェアは、反トランプのグローバリストであるジョージ・ソロスとの関係も疑われている。¹¹³

ドミニオンとスマートマティックをめぐる論争はさておき、機械の不正確さに関する最大の問題の1つは、Agilisという会社に行き着く可能性がある。ネバダ州の民主党の拠点であるクラーク郡のネバダ州の選挙管理者は、13万人以上の投開票署名をチェックするためにAgilis社の署名検証機を使用しました。

カーソンシティの第一司法地方裁判所に提出された裁判例によると、アジリス社の機械

は"メーカーの推奨よりも低い画像品質"を使用していたという。クラーク郡選挙管理局の職員もまた、精度をメーカーの推奨値以下に下げ、検証プロセス全体を信頼性の低いものにしていた。¹¹⁴

テストランでは、メーカーの設定では、Agilisマシンは不正確さに対してすでに高い許容範囲を持っていることが証明されました-

50%もの非一致率があるのです。言い換えれば、マシンを通して移動される可能性のある投票用紙の半分は検証が不可能であり、クラーク郡当局はその閾値をさらに下げた。

115

このケースの最後のコメントとして、より広範な法的問題があります
Agilisマシンは"選挙担当者による署名検証を完全に置き換えるために使用されました"
これはネバダ州法に反しています。

裁判例で指摘されているように"ネバダ州法に違反して、クラーク郡選挙管理局は、人間が署名を検査することなく、投函された投票用紙に添付された署名の30%のみをAgilisマシンが検証することを許可している。

同様の問題は、アリゾナ州の法廷に提出されたNovusとして知られているソフトウェアで主張されています。

投票用紙があまりにも破損していたり、投票集計機で読み取れなかったりする場合には、Novus

を使用して投票用紙の修復や復元を試みましたが。このシステムは、元の不合格となった投票用紙の該当するスキャンを読み込もうとすることで、そのようにしていました。しかし、アリゾナ共和党の議長であるケリ・ウォードによって提出された裁判で指摘されているように、"このソフトウェアは非常に不正確で、しばしば投票をひっくり返すことがあった"と述べています。¹¹⁷

不可解な票の入れ替わりとバイデン氏有利の票の急上昇

上述したアリゾナ州でのNovusのソフトウェアの問題をさらに複雑にしたものとして、このソフトウェアは非常に不正確なだけではありませんでした。オブザーバーによると、不可解な票の入れ替わりの例として、「ソフトウェアは誤って『Biden』を『Trump』の2倍の頻度で『Biden』と入力してしまった」¹¹⁸。

ジョー・バイデンを支持するための不可解な大規模な票の入れ替わりと票の急増がミシガン州のアントリム郡で少なくとも1件発生しているが、それは前述の物議を醸しているドミニオンとズマルトマチックという投票機のハードウェアとソフトウェアのコンボに関連している。この共和党の本拠地では、当初、ジョー・バイデンのために6000票が誤って集計されました。結果として得られた投票数の合計は、有権者登録や歴史的なパターンに反していたため、注目を集めていました。調べてみると、その6,000票は実際にはドナルド・バイデン氏の票であったことが判明しました。

J. トランプさん

その後のアントリム郡の投票集計の法医学的監査では、ドミニオンのシステムは68%という驚くべきエラー率を持っていたことが判明しました。¹²⁰

比較のために、連邦選挙委員会は、選挙システムの誤り率が0.0008パーセント以下でな

ければならないと要求しています。¹²¹

ハッカーやドミノオンと悪質な外国人犯罪者との関係を疑われていることを考えると、おそらくさらに厄介なことに、遠隔地からのインターネットアクセスを検知できるはずの記録がアントリム郡のシステムから消えてしまったのだ。これは、投票記録を22ヶ月間保持することを義務付けるミシガン州法¹²²

に直接違反していた。少なくとも、この監査結果は、国内の他の州でドミノオンのシステムをさらに調査する必要があることを示している。

ジョージア州では、結果が変わるドミニオンの機械に多数の「不具合」がありました。これらの変化の中で最も注目すべきは、バイデン氏の2万票の急増とトランプ氏の1,000票の減少でした。¹²³

VIII. 戦場となった6つの州の統計的な異常性

2020年の大統領選挙は、少なくとも4つのタイプの統計的な異常を特徴としており、厄介な問題を提起しているように見える。表8は、これらの統計的異常の発生率を争点となる6つの州で示したものである。表からわかるように、ウィスコンシン州とジョージア州は統計的異常が最も多く、4つの異常のうち3つが存在しています。ネバダ州とアリゾナ州は2つの異常を示していますが、ミシガン州は少なくとも1つの異常を示しています。ここでは、これらの統計的な異常をより詳細に見てみましょう。

表8：戦場国の統計的異常性

	ARIZONA	GEORGIA	MICHIGAN	NEVADA	PENNSYLVANIA	WISCONSIN
Significant Changes In Absentee Ballot Rejection Rates From Previous Elections		✓		✓	✓	
Excessively High Voter Turnout (at times exceeding 100%)	✓	✓	✓	✓		✓
Statistically Improbable Vote Totals Based on Party Registration & Historical Patterns	✓					✓
Unusual Vote Surges		✓	*			✓

✓ = Wide-Spread Evidence * = Some Evidence

前回の選挙からの郵送・不在者投票の否決率の劇的な変化

郵送投票や不在者投票は、様々な理由で否決されるのが50州では日常茶飯事である。これらの理由には、署名がない、または署名が適切に一致していない、期限を過ぎて到着が遅れた¹²⁴、有権者の身元を確認するための封筒（裸の投票用紙）がない¹²⁵、または有権者が投票用紙に不正確または不完全な情報を記入した場合などが含まれる。¹²⁶

2020年の大統領選では、ジョー・バイデンが郵送投票と不在者投票で不釣り合いに高い

割合を獲得しました。偶然ではないかもしれませんが、ペンシルバニア州、ネバダ州、そして特にジョージア州では、投票拒否率が劇的に低下しました。

例えば、ネバダ州では、全体の不在者投票拒否率は2016年の1.6%¹²⁷から2020年には0.58%に低下した。しかし、全体的な不在者投票の否決率が最も大きく低下したのはジョージア州であった。否決率は2016年の6.8%¹³¹から2020年にはわずか0.34%¹³²にまで低下した。

劇的に低い否決率は、これらの重要な争点となっている州の民主党の選挙管理者が、郵送投票や不在者投票をより低いレベルの精査の対象とするために、意識的な努力をしていることを示しています。このような政府の行為や選挙制度のゲーム性が、ジョー・バイデン氏に有利になるような結果をもたらした可能性があることは、この単純な計算で説明できます。

2020年のレースでは、ジョージア州の選挙当局は、郵送投票と不在者投票で1,320,154票を受け取った。もしこれらの投票用紙が2020年の0.34%ではなく、2016年の6.8%の投票率で否決されていたとしたら、実際に否決された4,489票ではなく、81,321票が否決されていたことになる。

保守的な仮定では、これらの郵送投票と不在者投票の60%がジョー・バイデンに投票されたと仮定すると¹³³、この劇的な否決率の低下により、ジョー・バイデンはさらに16,264票を獲得したことになる。これは、ジョージア州でバイデンが勝利したとされていた差以上の差である。

過度に高い投票率（100%を超える場合もある）

登録されている有権者や資格のある有権者よりも多くの投票用紙が投じられている場合、不正行為が行われている可能性が高い。2020年の大統領選挙では、6つのスイング州すべてで投票率が過度に高くなった。

この問題を分析する上で重要なのは、当日登録をしている州としていない州を区別することである。当日登録のある州では、投票率が100%を超える可能性がある。しかし、当日登録をしていない州では、不正が行われずに投票率が100%を超えることは不可能である。

アリゾナ州は、当日の有権者登録を認めていない。MITで訓練を受けた数学者の証言によると、バイデン候補は、マリコパ郡で使用されているドミニオンの投票機にプログラムされたアルゴリズムにより、マリコパ郡での民主党票の合計が加重された130%の票を得て、州の勝利に貢献した可能性がある。¹³⁴

ミシガン州は同一投票者登録を認めているが、それでも投票率は異常に高かった。ここでもドミニオンの投票システムが関与している。機知に富んでいる。

サイバーセキュリティの幹部で元NASAのアナリストであるラス・ラムスランド氏は、ドミニオンの投票システム機器が使用されたミシガン州ウェイン郡では、同郡の47の管

区のうち46の管区で96%以上の投票率を示したと証言しています。これらの管区のうち25管区では100%の投票率を示した。¹³⁵

また、当日の有権者登録を認めているウィスコンシン州でも、2016年の数値と比較すると、異常に高い投票率が報告されている。例えば、ミルウォーキーでは、2020年の大統領選挙では、2016年の75%に対して84%という記録的な投票率を報告している¹³⁶。¹³⁷

政党登録と歴史的パターンに基づく統計的にあり得ない投票数の集計

2020年の大統領選挙は、歴史的なパターンと一致した強い党派的な投票パターンが特徴的だった。原則として、共和党の管轄区域はトランプ大統領に大きく投票し、民主党の管轄区域はジョー・バイデン氏に大きく投票した。

しかし、いくつかのケースでは、これらの党派的で歴史的なパターンに違反している場合があります。それはまさにそのような場合にこそ、明白な詐欺や機械の不正確さや操作が最も可能性が高いのである。

このような統計的にあり得ない投票数の一例として、アリゾナ州の第5議会区での結果があります。クイーンクリーク郊外のある地区では、トランプ大統領への投票率が2016年に比べて67.4%から58.5%へと劇的に低下しました。¹³⁸
これは、重複投票が「異常に多い」ことに起因しています。¹³⁹

異例の票の急上昇

ジョージア州、ミシガン州、ウィスコンシン州で11月^{4日}の朝の非常に早い時間帯に、いくつかの異常な票の急増が起こった。ニューヨーク・タイムズ紙の「Voter Integrity Project」が行った分析によると、選挙当日のデータが公開され、バイデン氏とトランプ氏の比率が異常に高く、異常に大きな票の「急増」がいくつか見られたという。このようなスパイクや急増は、不正な投票用紙がカウントされていたことを示している可能性が高い。

例えばジョージア州では、11月^{4日}午前1時34分の更新で、ジョー・バイデン氏に136,155票が追加投じられ、トランプ大統領に29,115票が追加投じられました。¹⁴⁰

ミシガン州の11月^{4日}午前3時50分の更新では、ジョー・バイデン氏に54,497票、トランプ大統領に4,718票が追加投じられた。¹⁴¹

また、11月^{4日}午前3時42分に行われたウィスコンシン州の更新では、ジョー・バイデン氏への追加投票が143,379票、トランプ大統領への投票が25,163票となっています。¹⁴²

IX. 立法府・司法府の州別分析と信号の失敗

幸せな家族はみんな同じで、不幸な家族はそれぞれのやり方で不幸になっています。

-アンナ・カレーニナレオ・トルストイ作

この時点で、6つの激戦区のすべての州が、本報告書で文書化された選挙不正の6つの次元のほとんど、あるいはすべてに苦しんでいることは明らかであるべきである。しかし、トルストイの「不幸な家族」のように、各激戦地の州は選挙の不正の方法が異なるのも事実である。つまり、各激戦区の州は、ジョー・バイデン氏を支持するためには、印象的には「最も重要」と考えられるかもしれない問題を独自にミックスしているという特徴があるのである。

10,457票というバイデン氏の勝率が最も低いとされるアリゾナ州を考えてみましょう。マリコパ郡とピマ郡の投票率が統計的にあり得ないほど高く、投票用紙の誤処理が蔓延しており、160万枚の郵送投票（バイデンに傾いていた）が、直接会った有権者（トランプに傾いていた）よりもはるかに低い認証基準と身分証明書の確認を受けている州だ。

ジョージア州では、バイデン氏の勝率はわずか11,779票だった。ピーチステートで最も突出しているのは、何百万もの郵送投票用紙の署名照合要件を効果的に抉り出した違法な同意令であろう。また、真夜中にテーブルの下から約10万枚の投票用紙が不思議なことに引っ張り出され、迅速に集計されたという未解決の偽装投票用紙の製造問題もあります。もちろん、ジョージア州の選挙区バージョンのスリーカードモンテの手品が、バイデンの票の急増につながったことを見ました。

オブザーバーと世論調査員の虐待に 悩まされた6つの州の中で
ミシガンは"平等の第一位"に位置します"窓を塞ぎ"と"オブザーバーを荒らす"戦術で、
ウェイン郡のデトロイトは、この"悪を見ない"世界の中心でした。地元の共和党の役人
2人が、この郡の票の認証を保留して監査を要求しようとしたとき、彼らは極度の脅迫
と「ドックス」の対象となり、すぐに降伏した。¹⁴³

ネバダ州も同様に、ジョー・バイデンの勝率が33,596票と非常に狭いとされています。ここでは、アギリスマシンに関連した投票機の不正操作により、13万票もの票が疑われています。また、州外の有権者や居住条件を満たしていない他の有権者による投票が異常に多かった可能性があります。もちろん、ジョー・バイデン氏に投票するためにネイティブアメリカンの人々に行われた露骨な賄賂は、州と民主党に暗い汚点を残していることは言うまでもない。¹⁴⁴

ペンシルバニア州では、同じように凶々しい民主党の国務長官が、裸の投票用紙を受け入れるための違法なガイダンスを出し、ペンシルバニア最高裁判所からの問題を修正するための指示を無視しました。彼女は、州法に反して、投票用紙が違法に治癒されることを認め、選挙日後の投票用紙の受け入れについての法的限界を押し通しました。

キーストーン州では、ジョージア州のスリーカードモンテと同様に、偽の投票用紙をテーブルの下からシャッフルして取り出すというスキャンダルがありますが、偽の投票用紙の製造の可能性についても同様に未解決の問題があります。ここで、トラック運転手の証言を思い出して下さい。彼は、ニューヨークで10万枚もの偽装製造された投票用紙を拾い、ペンシルバニアに届けました。トラクタートレーラーと関係した投票用紙の両方とも行方不明のままです。そして、このトラクタートレーラーの中にあつたかもしれないものは、選挙をジョー・バイデンに振り分けるのに十分な投票用紙でした。

最後に、ウィスコンシン州では、全ての争点となるプロセスファウルの母体は、州法に明らかに違反した不在者投票を装って、約17万通の郵送投票が集計プロセスに入ったことです。これは、バイデンの勝率20,682票という疑惑の投票数の8倍以上である。

ウィスコンシン州では、同様に「無期限に拘束された有権者」の定義を過度に拡大したことに関連した大規模な悪用があります。ウィスコンシン州での2020年の選挙では、新たに無期限に拘束された有権者の増加は、バイデン氏の勝率が疑惑の5倍以上であったことを思い出して下さい。

民主党の政府関係者は、6つの戦場となっている州のすべてで選挙プロセスを騙し、ゲームをしていたが、多くの共和党の政府関係者（知事や州議会議員から裁判官まで）は、彼らの邪魔をするようなことはほとんど何もしていなかった。

アリゾナ州、ジョージア州、ミシガン州、ペンシルバニア州、ウィスコンシン州の6つの激戦州のうち5つの州議会の両院を共和党が支配していることを考えてみましょう。これらの州議会には、本報告書で提示された選挙不正の6つの側面を調査する権限と機会があることは明らかである。しかし、これらの政治家たちは、激しい政治的圧力に屈して、憲法上の義務と責任を果たせず、その結果、自分たちの州とこの国、そして自分たちの党の両方を失敗させてしまった。

同じことが、6つの激戦州のうちアリゾナ州とジョージア州の2つの共和党の知事にも言える。アリゾナ州のダグ・ドゥシー氏とジョージア州のブライアン・ケンプ氏は、両州が選挙の不正に悩まされている間、両州の知事の大邸宅に身を寄せ、事実上、その手の上に座っている。

アメリカ政府の司法部門は、この報告書で検討されているような問題の最終的な裏付けとなるべきである。しかし、州裁判所も連邦裁判所も、最高裁判所を含め、アメリカ国民の目の前に現れた選挙の不正を適切に裁くことを拒否するという点で、失敗してきた。彼らの失敗は、同様にアメリカ共和国に大きな危険をもたらしている。

最後の観察

本報告書の調査結果から、トランプ・ペンス氏に対抗して選挙を有利に進めるための協調的な戦略があったのではないかと推察することができます。実際、本報告書で観察された選挙の不正のパターンは、6つの激戦州で一貫しており、選挙を盗むのではなく、選挙プロセスを戦略的にゲーム化して、バイデン-ハリス候補に有利な状況に不当に傾斜させるための協調戦略があったことを示唆している。

この「ボール箱を詰める」戦略の大きな部分は、テキサス州が米国最高裁前に提出した訴状に適切にまとめられています。

COVID-

19のパンデミックを正当化するために、[ジョージア、ミシガン、ペンシルバニア、ウィスコンシンの民主党の]政府高官は、立法府の権限を篡奪し、州の選挙法を違憲に改正しました。彼らは、執行部の手腕や友好的な訴訟によって、これらの法改正を達成し、それによって投票の完全性を弱めたのです。¹⁴⁶

最高裁判所が審理を拒否したテキサス州の訴状によると、この戦略の目的は、「何百万もの投票用紙を、ほとんど、あるいは何の管理もされずに、郵便で送られたり、ドロップボックスに入れられたりすることで、激戦区の州に氾濫させること」でした。同時に、民主党政府高官は、「投票署名の検証と立会人の要件の完全性を保護する最も強力なセキュリティ対策を弱める」ことも求めました。

本報告書で実施された評価の結果は、テキサス州の訴状と一致している。主なポイントは以下の通りである。

- この報告書で明らかになった証拠の重さと不正のパターンは、誰にとっても、特に主流メディアにとっても、不正や不正の「証拠がない」と主張するのは無責任である。
- 選挙の不正が明らかになったために問題となっている投票用紙は、これらの投票用紙のうちの比較的小さな部分であっても違法と裁定されれば、トランプ大統領に有利に結果を左右するには十分すぎるほどのものです。
- 6つの激戦区の州はすべて、選挙の不正の6つの次元の大部分、またはすべてを示しているが、各州は「最も重要」と考えられる問題を独自に組み合わせている。別の言い方をすれば、すべての激戦区の州は同じ、あるいは似たような選挙の不正によって特徴づけられているが、トルストイの「不幸な家族」のように、それぞれの激戦区の州は、選挙の不正の仕方が異なるのだ。
- これは、一つの「銀の弾丸」の選挙不正ではなく、六つの次元と六つの戦場州をまたいだ千切りによる窃盗だった。

- 増え続ける正当な不平不満の調査を拒否する中で、反トランプメディアとソーシャルメディアの検閲は、アメリカ国民を真実から遮蔽することに加担している。これは、メディアの信頼性と政治体制や共和国の安定性を同時に損なう危険なゲームだ。
- 現在、バイデン・ホワイトウォッシュとなっているものに参加しているジャーナリスト、評論家、政治指導者たちは、選挙の不正の6つの側面を認め、2020年の選挙の真実を見極めるために適切な調査を行うべきです。就任式の日までにこれが行われなければ、アメリカ国民の大部分の支持を欠いた違法な大統領を権力の下に置く危険性があります。
- この報告書で評価された選挙不正の6つの次元を積極的かつ完全に調査することの失敗は、反トランプの主流メディアとソーシャルメディアの検閲だけでなく、立法府と司法府の両方の信号の失敗である。
 - アリゾナ州、ジョージア州、ミシガン州、ペンシルバニア州、ウィスコンシン州の5つの激戦州のうち、アリゾナ州とジョージア州の共和党知事と州議会の両院で共和党が過半数を占めている¹⁴⁸は、本報告書で提示されている選挙不正の6つの側面を調査する権限と機会を持っていました。しかし、これらの政治家は、激しい政治的圧力に屈して、憲法上の義務と責任を果たせず、その結果、自分たちの州とこの国、そして自分たちの党の両方を失敗させてしまったのである。
 - 最高裁判所を含む州裁判所と連邦裁判所の両方とも、アメリカ国民の前に出てきた選挙の不正を適切に裁くことを拒否したことで、アメリカ国民の期待を裏切ってきた。彼らの失敗は、アメリカ共和国に大きな危険をもたらしています。
- もしこれらの選挙の不正が就任式の日までに完全に調査されず、それによって効果的に放置された場合、この国は二度と公正な大統領選挙を行うことができなくなるという非常に現実的なリスクを負うことになる。

エンドノート

1

本報告書で言及されている宣誓供述書または宣誓書に署名したすべての目撃者のうち、公の記録（裁判例など）では名前が言及されていない者は、性別に基づいて「ジェーン・ドゥー」または「ジョン・ドゥー」と呼ばれています。これは、彼らの安全と安心を確保するために行われている。

2

バロットペディア「州議会の党派構成」2020年12月4日

https://ballotpedia.org/Partisan_composition_of_state_legislatures。

³ バンプ、フィリップ。"The two states that almost always predict which candidate is headed for defeat" *The Washington Post*, 7 September 2016. <https://www.washingtonpost.com/news/the-fix/wp/2016/09/07/the-two-states-that-almost-always-predict-wich-candidate-is-headed-for-defeat/>.

*民主党候補の例外は、1960年のジョン・F・ケネディと1992年のビル・クリントンの2人。

4

ウィリアムズ、ピート

"トランプ氏の選挙戦には50件以上の訴訟が含まれている。うまくいっていない。" *NBCニュース*, 11月23日、2020. <https://www.nbcnews.com/politics/2020-election/trump-s-election-fight-includes-over-30-lawsuits-it-s-n1248289>

5

本報告書で言及されている宣誓供述書および宣誓書に署名したすべての証人は、その安全と安心を確保するために、性別に基づいて「ジェーン・ドゥー」「ジョン・ドゥー」と呼ばれています。

⁶ Bannon, Steve, *War Room Pandemic*, <https://pandemic.warroom.org/>

⁷ ソロモン、ジョン、ジャスト・ザ・ニュース、<https://justthenews.com/john-solomon>

⁸ Kassam, Raheem, *National Pulse*, <https://americasvoice.news/the-national-pulse/>

⁹ *Newsmax*, <https://www.newsmax.com/>

¹⁰ *One America News Network*, <https://www.oann.com/>

¹¹ "Most Say Mail-In Voting Worked, But 47% Say Fraud Likely." *Rasmussen Reports*, December 7, 2020.

https://www.rasmussenreports.com/public_content/politics/elections/election_2020/most_say_mail_in_voting_worked_but_47_say_fraud_likely

¹² Legal Information Institute, "Bribery, *Cornell University*, <https://www.law.cornell.edu/wex/bribery>

¹³ Bedard, Paul, "Pro-Biden effort offered Native Americans \$25-\$500 Visa gift cards and jewelry to vote", *Washington Examiner*, December 14, 2020. <https://www.washingtonexaminer.com/washington-secrets/pro-biden-effort-offered-native-americans-25-500-visa-gift-cards-jewelry-to-vote>.

¹⁴ Pentochoukov, Ivan, "Illegal Money-for-Votes Raffles Conducted in several States in 2020 Election" *Epoch Times*, December 2, 2020. https://www.theepochtimes.com/illegal-money-for-votes-raffles-conducted-in-several-states-in-2020-election_3598915.html

15

モーガン

ジェシー証言"USPSのトラック運転手は、28万8,000枚の完成した投票用紙を積み込んだ荷物に不審な点があったと言っています。"2020年12月1日 <https://www.youtube.com/watch?v=R0xaA4dYsbQ>。

¹⁶ 2020年11月9日ペンシルバニア州デラウェア郡ジョン・ドウの宣言。

¹⁷ Bedard, Paul, "20 House Republicans demand Barr investigate 'suitcases' of ballots in Georgia" *The Washington Examiner*, December 4, 2020. <https://www.washingtonexaminer.com/washington-secrets/20-house-gop-demand-ag-barr-investigate-suitcases-of-ballots-in-georgia>.

¹⁸ 「トランプ陣営の弁護士が投票用紙不正のビデオ『証拠』を提示」上院司法小委員会、2020年12月4日 <https://www.youtube.com/watch?v=LJ0xDWhWUxk>。

Real American Politics, December 4, 2020. <https://twitter.com/RealAPolitics/status/1334754269052997635?s=20>

¹⁹ 参照。Weber, Peter, "Georgia's top election investigator debunks a vote fraud conspiracy involving 'succases' of ballots, a urinal", December 7, 2020. <https://news.yahoo.com/georgias-top-election-investigator-debunks-115236191.html>

²⁰ アリゾナ州地区の米国連邦地方裁判所では、*タイラー・ボーウィヤーら v. Doug*

Ducey, 2020年12月2日、<https://www.democracydocket.com/wp-content/uploads/sites/45/2020/12/Bower-Complaint-AZ.pdf>。

²¹ ジョージア州コブ郡ジェーン・ドウの宣誓供述書 2020年11月12日

²² 2020年11月7日ペンシルバニア州バックス郡ジェーン・ドゥー宣言

²³ WisGOPvoterincrease" <https://www.wispolitics.com/2020/wisgop-trump-lawsuit-highlights-indefinitely-confined-voter-increase/>

²⁴ WisGOPindefinitelyconfined | <https://www.wispolitics.com/2020/wisgop-some-indefinitely-confined-voters-are-not-indefinitely-confined/>

²⁵ WisGOPindefinitelyconfined | <https://www.wispolitics.com/2020/wisgop-some-indefinitely-confined-voters-are-not-indefinitely-confined/>

²⁶ WisGOPvoterincrease" <https://www.wispolitics.com/2020/wisgop-trump-lawsuit-highlights-indefinitely-confined-voter-increase/>

²⁷byaliens | <https://www.law.cornell.edu/uscode/text/18/611>

²⁸ジョージア州フルトン

郡州高等裁判所、トランプ対ラップフェンスベルガー、2020年12月4日、<https://www.democracymocket.com/wp-content/uploads/sites/45/2020/12/Trump-v.-Raffensperger.pdf>。

In the Superior Court of Fulton County State of Georgia, November 29, 2020. <https://www.democracymocket.com/wp-content/uploads/sites/45/2020/11/2020-11-30-Verified-Complaint.pdf>。

³⁰2020年11月8日ペンシルバニア州フィラデルフィア郡ジェーン・ドゥー宣言

³¹ネバダ州カーソンシティ第一司法地方裁判所において ジェシー・ロー対ジュディス・ウィットマー
2020年11月17日 <https://www.democracymocket.com/wp-content/uploads/sites/45/2020/11/nov-17-doc-2.pdf>

³²2020年11月22日、ネバダ州ラスベガス、ジョン・ドゥーの宣言。

³³ "Rudy Giuliani claims 8,000 dead people voted in election in Pennsylvania", November 25, 2020, https://www.youtube.com/watch?v=2_VUkB2jAqg.

も参照してください。

"Pennsylvania Senate Republican Lawmaker Hearing Transcript on 2020 Election" Rev, November 26, 2020. <https://www.rev.com/blog/transcripts/pennsylvania-senate-republican-lawmaker-hearing-transcript-on-2020-election> ³⁴
Affidavit of Jane Doe, Oakland County, Michigan, November 11, 2020.

³⁵ネバダ州クラーク郡ジョン・ドゥーの宣言 2020年11月7日

³⁶

ジョージア州フルトン郡高等裁判所において、ポール・アンドリュウ・ボランド対ブラッド・ラップフェ
ンスベルガー、2020年11月29日、<https://www.democracymocket.com/wp-content/uploads/sites/45/2020/11/2020-11-30-Verified- 訴状.pdf>

³⁷ネバダ州ラスベガス、2020年11月20日、ジョン・ドゥーの声明。

³⁸ウィスコンシン州ジェーン・ドゥーの宣言、2020年11月12日。

³⁹ジェーン・ドゥーの宣誓供述書 ミシガン州ワシュテノー郡 2020年11月9日

⁴⁰ノーサンプトン郡ジェーン・ドゥーの宣言 2020年11月8日

⁴¹フィラデルフィア郡ジョン・ドゥーの宣言 2020年11月14日

⁴²2020年11月7日ペンシルバニア州ノースハンプトン郡ジェーン・ドゥーの宣言

⁴³ミシガン州ジョン・ドゥーの宣誓供述書 2020年11月10日

⁴⁴クラーク郡ジェーン・ドゥーの宣言 2020年11月8日

⁴⁵ 投票用紙の、 "How do election workers match

署名?(2020年) | [https://ballotpedia.org/How_do_election_workers_match_signatures%3F\(2020年\)](https://ballotpedia.org/How_do_election_workers_match_signatures%3F(2020年))

⁴⁶ジョージア民主党 (Democratic Party of Georgia, Inc.) (以下、「DPG」)、DSCC、DCCC、妥協和解と解放、2020年3月6日、<https://www.democracymocket.com/wp-content/uploads/sites/45/2020/07/GA-Settlement-1.pdf>。

⁴⁷Petition for Writ of Mandamus and Complaint for Declaratory and Injunctive Relief, "Daniel Rodimer v. Joseph Gloria, November 19, 2020. https://www.democracymocket.com/wp-content/uploads/sites/45/2020/11/Rodimer-v-Gloria_A-20-825130-W_Writ-of-Mandamus.pdf

⁴⁸ネバダ州カーソンシティ第一司法地方裁判所において ジェシー・ロー対ジュディス・ウィットマー
2020年11月17日 <https://www.democracymocket.com/wp-content/uploads/sites/45/2020/11/nov-17-doc-2.pdf>

⁴⁹

アメリカ合衆国地方裁判所東部地区ウィスコンシン・ミルウォーキー支部、ドナルド・J・トランプ対ウ
ィスコンシン選挙管理委員会、2020年12月2日、<https://www.democracymocket.com/wp-content/uploads/sites/45/2020/12/Trump-v-WEC-EDWI.pdf>。

⁵⁰Ballotpedia, "Pennsylvania Secretary of State" https://ballotpedia.org/Pennsylvania_Secretary_of_State

⁵¹ペンシルバニア州中部地区連邦地方裁判所、ドナルド・J・トランプ大統領他 v. 182020Kathy
Boockvar et al. <https://www.courtlistener.com/recap/gov.uscourts.pamd.127057/gov.uscourts.pamd.127057.169.0.pdf>

⁵²ペンシルバニア州中部地区連邦地方裁判所、ドナルド・J・トランプ大統領他 v. 182020Kathy
Boockvar et al. <https://www.courtlistener.com/recap/gov.uscourts.pamd.127057/gov.uscourts.pamd.127057.169.0.pdf>

<https://www.courtlistener.com/recap/gov.uscourts.pamd.127057/gov.uscourts.pamd.127057.169.0.pdf>

53

The Elections Assistance Commission,

「BallotBuilding」 https://www.eac.gov/sites/default/files/eac_assets/1/6/Chapter_5_Ballot_Building.pdf

f

⁵⁴ Harris, Bev, "About Chain of Custody" *Election Watch*, February 16, 2016. <https://blackboxvoting.org/about-chain-of-custody/>.

⁵⁵ ペンシルバニア州ジェーン・ドウの宣言 2020年11月7日ノースハンプトン郡。
2020年11月7日ペンシルバニア州デラウェア郡ジョン・ドウ⁵⁶宣言(写真3枚、動画2本)

⁵⁷ アメリカ合衆国最高裁では、*The State of Texas v. Commonwealth of Pennsylvania, State of Georgia, State of Michigan, State of Wisconsin*, December 7, 2020. <https://www.texasattorneygeneral.gov/sites/default/files/images/admin/2020/Press/SCOTUSFiling.pdf>

⁵⁸ Chaitin, Daniel, "Lindsey Graham.25,000人の老人ホーム住民を巻き込んだペンシルバニア州での投票用紙収穫の可能性" *Microsoft News*, November 10, 2020. <https://www.msn.com/en-us/news/politics/lindsey-graham-possible-ballot-harvesting-in-pennsylvania-involving-25-000-nursing-home-residents/ar-BB1aR3R4>

⁵⁹ ジェーン・ドウの宣誓供述書 ウィスコンシン州ブルックフィールド 2020年11月10日

⁶⁰ ブラウン郡ジョン・ドウの宣言 2020年11月11日

⁶¹ Greenberg, Jay, "Dominion Technician Exposed as Anti-Trump Ex-Kamala Harris Worker", December 1, 2020, <https://neonettle.com/news/13425-dominion-technician-exposed-as-anti-trump-ex-kamala-harris-worker>.

⁶² ウィスコンシン州ウオーケーシャ郡ジェーン・ドゥーの宣言 2020年11月11日

⁶³ "USPS契約者「大統領選挙中にウィスコンシン州で何か重大な誤りが発生した」" 2020年12月1日 <https://www.youtube.com/watch?v=hRUvP6cbtZk&feature=youtu.be&t=69>.
も参照してください。

Van Brugen, Isabel, "Wisconsin USPS Subcontractor Alleges Backdating of Tensens of Thousands of Mail-In Ballots", December 2, 2020. https://www.theepochtimes.com/wisconsin-usps-subcontractor-alleges-backdating-of-tens-of-thousands-of-mail-in-ballots_3601580.html.

⁶⁴

ミシガン州司法地区、ジェリル・A・コンスタンティノ、デビッド・A・コールマン対デトロイト市、2020年11月8日 <https://assets.documentcloud.org/documents/20403147/wayne-county-michigan-election-fraud-lawsuit.pdf>.

⁶⁵ ジェーン・ドウの宣誓供述書 ミシガン州オークランド郡 2020年11月10日

⁶⁶ ジョージア州コブ郡ジョン・ドゥーの宣言、2020年11月5日。

⁶⁷ 宣誓供述書 ジョン・ドゥー、イーグル郡、コロラド州、2020年11月12日。

⁶⁸ ジョン・マクブレイン、エスクァイアの宣言。参照：The Supreme Court of United States, *State of Texas v. Commonwealth of Pennsylvania, State of Georgia, State of Michigan, and State of Wisconsin*, December 7, 2020. https://www.supremecourt.gov/DocketPDF/22/22O155/163048/20201208132827887_TX-v-State-ExpedMot%2020-12-07%20FINAL.pdf

⁶⁹ 宣誓供述書

ジェーン・ドウ、ジョージア州グウィネット郡、2020年11月12日⁷⁰

ウィスコンシン州ウオーケーシャ郡ジョン・ドウの宣誓供述書

2020年11月10日⁷¹ 宣誓供述書

ジェーン・ドウ、ネバダ州クラーク郡、2020年11月10日。

⁷² ジョン・マクブレイン、エスクァイアの宣言。参照：The Supreme Court of United States, *State of Texas v. Commonwealth of Pennsylvania, State of Georgia, State of Michigan, and State of Wisconsin*, December 7, 2020. https://www.supremecourt.gov/DocketPDF/22/22O155/163048/20201208132827887_TX-v-State-ExpedMot%2020-12-07%20FINAL.pdf

⁷³ ジョン・ドウの宣誓供述書 2020年11月10日 ウィスコンシン州ウオーケーシャ郡

⁷⁴ ジョン・マクブレイン、エスクァイアの宣言。参照：The Supreme Court of United States, *State of Texas v. Commonwealth of Pennsylvania, State of Georgia, State of Michigan, and State of Wisconsin*, December 7, 2020. https://www.supremecourt.gov/DocketPDF/22/22O155/163048/20201208132827887_TX-v-State-ExpedMot%2020-12-07%20FINAL.pdf

⁷⁵ ジョージア州フルトン郡高等裁判所 (The Superior Court Of Fulton County State of Georgia)、トランプ対ラフエンズペルガー (*Trump v. Raffensperger*)、2020年12月4日、<https://www.democracymocket.com/wp-content/uploads/sites/45/2020/12/Trump-v.-Raffensperger.pdf>.

⁷⁶ Liptak, Adam, "Supreme Court Allows Long Long Deadline for Absentee Ballots in Pennsylvania and North Carolina", *New York Times*, October 28, 2020. <https://www.nytimes.com/2020/10/28/us/supreme-court-pennsylvania-north-carolina-absentee-ballots.html>.

⁷⁷ Southwick, Ron, "Pa. received 10,000 ballots after polls closed on Election Day", *PennLive*, Nov10, 2020. <https://www.pennlive.com/elections/2020/11/pa-received-10000-late-ballots-that-arrived-after-polls-closed-on-election-day.html>

⁷⁸ 2020年11月7日 ペンシルバニア州デラウェア郡ジェーン・ドウの宣言

⁷⁹ ウィスコンシン州最高裁判所「ドナルド・J・トランプ他 v.

アンソニー・エヴァース他」2020年12月1日 https://cdn.donaldjtrump.com/public-files/press_assets/wisconsin-filing-12-1-20_compressed.pdf.

⁸⁰ ウィスコンシン州オーククリークのジェーン・ドウの宣言 2020年11月11日

⁸¹ The Superior Court Of Fulton County State of Georgia, *Trump v. Raffensperger*, December 4, 2020.

<https://www.democracymarket.com/wp-content/uploads/sites/45/2020/12/Trump-v.-Raffensperger.pdf>.

⁸² 2020年11月7日 ペンシルバニア州モンゴメリー郡ジョン・ドゥー宣言

⁸³ 2020年11月9日、ペンシルバニア州アレゲニー郡ジョン・ドウの宣言。

⁸⁴ ミシガン州インガム郡ジョン・ドウの宣言 2020年11月11日

⁸⁵ ミシガン州インガム郡ジェーン・ドウの宣言 2020年11月11日

- 86 イリノイ州ウィートン、ジェーン・ドゥーの宣言、2020年11月9日。
- 87 「不在者and 郵便投票の治癒 期間 *Ballotpedia*, Accessed on December 14, 20. https://ballotpedia.org/Cure_period_for_absentee_and_mail-in_ballots.
- 88 「不在者and 郵便投票の治癒 期間 *Ballotpedia*, December 14, 20. https://ballotpedia.org/Cure_period_for_absentee_and_mail-in_ballots.
- 89 ペンシルバニア州センター郡ジェーン・ドウの宣言 2020年11月11日
- 90 ペンシルベニア州中部地区連邦地方裁判所、ドナルド・J・トランプ大統領他 v. November 18,2020. <https://www.courtlistener.com/recap/gov.uscourts.pamd.127057/gov.uscourts.pamd.127057.169.0.pdf>
- 91 ペンシルベニア州中部地区連邦地方裁判所、ドナルド・J・トランプ大統領他 v. November 18,2020. <https://www.courtlistener.com/recap/gov.uscourts.pamd.127057/gov.uscourts.pamd.127057.169.0.pdf>
- 92 ウィスコンシン州ミルウォーキー郡バーソロミュー・W.とジーン・B.W.の宣言2020年11月16日。参照 <https://www.jsonline.com/story/news/2020/11/11/fact-check-republicans-claim-wisconsin-clerks-illegally-altered-ballots/6234023002/>
- 93 2020年11月9日ペンシルバニア州デラウェア郡ジョン・ドウの宣言。
- 94 ミシガン州控訴裁判所「*Donald J. Trump for President et al v. Jocelyn Benson*」2020年11月30日 <https://www.democracymocket.com/wp-content/uploads/sites/45/2020/11/Trump-brief-FINAL.pdf>.
- 95 ジェーン・ドウの宣誓供述書 ミシガン州ワシュテノー郡 2020年11月9日
- 96 Cornell University, “Equal 保護” *InformationInstitute*, https://www.law.cornell.edu/wex/equal_protection
- 97 Lai, Jonathan et al, “ジョー・バイデンはペンシルバニア州の郵送投票4票のうち3票を獲得した。トランプ氏は、直接投じられた3票のうち2票を獲得した。それは将来のために何を意味するのだろうか？ フィラデルフィア・インクワイアラー紙、<https://www.inquirer.com/politics/election/mail-ballots-pennsylvania-election-trump-biden-20201119.html>”
- 98 ウィスコンシン州ミルウォーキー郡ジョン・ドゥーの宣言 2020年11月11日
- 99 ブレア郡、バークス郡、ランカスター郡、カーボン郡、クリントン郡、ライカミング郡、ドーフォイン郡、ペリー郡。
- 100 ジョセフ・D・ハム v. キャシー・ゴックバー、ペンシルベニア州連邦裁判所、2020年11月3日。 <http://www.pacourts.us/assets/files/setting-7723/file-10362.pdf?cb=f327ff>
- 101 アリゾナ州長官「投票者は特定の投票問題を修正するための限られた時間を持っている」2020年11月9日 <https://azsos.gov/about-office/media-center/press-releases/1248>
- 102 アリゾナ州地区の米国連邦地方裁判所では、タイラー・ボーウィヤー他 v.ダグ・ドゥシー、2020年12月2日、<https://www.democracymocket.com/wp-content/uploads/sites/45/2020/12/Bower-Complaint-AZ.pdf>.
- 103 全国 州 議会議員会議 「世論 調査員 と 1, 2020年10月号 <https://www.ncsl.org/research/elections-and-campaigns/poll-watcher-qualifications.aspx>
- 104 全国 州 議会議員会議 「世論 調査員 と 1, 2020年10月号 <https://www.ncsl.org/research/elections-and-campaigns/poll-watcher-qualifications.aspx>
- 105 ジェーン・ドウの宣誓供述書 ジョージア州ロックデール郡 2020年11月
- 106 2020年11月8日、ペンシルバニア州フィラデルフィア、ジョン・ドウの宣言。
- 107 ジェーン・ドウの宣誓供述書 ウィスコンシン州ブルックフィールド 2020年11月10日
- 108 BallotpediabyState| https://ballotpedia.org/Voting_methods_and_equipment_by_state
- 109 BallotpediabyState| https://ballotpedia.org/Voting_methods_and_equipment_by_state
- 110 *Dominion Voting Systems*, "About" <https://www.dominionvoting.com/about/>
- 111 Varnona, Frank "2020 Stolen Election by Dominion Voter Systems - Hammer & Scorecard" *Conservative Business Journal*, <https://www.conservativebusinessjournal.com/2020-stolen-election-hammer-and-scorecard/>
- 112 , “The Delian FoundationProject,”<https://www.clintonfoundation.org/clinton-global-initiative/commitments/delian-project-democracy-through-technology>

例えば、スマートマティックの会長であるマーク・マルク＝ブラウン氏は、ジョージ・ソロス氏のオープン・ソサエティ財団の理事を務めている。Open Society Foundation, "[Leadership](https://www.opensocietyfoundations.org/who-we-are/leadership/mark-malloch-brown)"
<https://www.opensocietyfoundations.org/who-we-are/leadership/mark-malloch-brown>

¹¹⁴ ネバダ州カーソンシティ第一司法裁判所「*Jesse Law et al v. Judith Whitmer et al*」2020年11月17日
<https://www.democracydocket.com/wp-content/uploads/sites/45/2020/11/nov-17-doc-2.pdf>.

¹¹⁵ ネバダ州カーソンシティ第一司法裁判所「*Jesse Law et al v. Judith Whitmer et al*」2020年11月17日
<https://www.democracydocket.com/wp-content/uploads/sites/45/2020/11/nov-17-doc-2.pdf>.

「ネバダ州法に違反して、クラーク郡選挙管理局は、Agilisマシンに、人間がそれらの署名を検査することなく、郵便投票用紙に添付された署名の30%のみを検証することを許可しています」。

¹¹⁷ マリコパ郡のアリゾナ州高等裁判所において、「*Kelli Ward v. Constance Jackson et al*」2020年11月24日 <https://assets.documentcloud.org/documents/20417265/ward-v-jackson-complaint-and-petition-for-discovery.pdf>

¹¹⁸ マリコパ郡のアリゾナ州高等裁判所において、「*Kelli Ward v. Constance Jackson et al*」2020年11月24日 <https://assets.documentcloud.org/documents/20417265/ward-v-jackson-complaint-and-petition-for-discovery.pdf>

¹¹⁹ テキサス州ダラス郡ジョン・ドウの宣誓供述書2020年11月17日

https://www.courtlistener.com/recap/gov.uscourts.gand.283580/gov.uscourts.gand.283580.7.1_2.pdf

¹²⁰ ラムスランド・ジュニア

ラッセル"ミシガン州アントリム鑑識報告書"ウィリアム・ベイリー対ミシガン州アントリム郡, December 13, 2020.

[https://depernolaw.com/uploads/2/7/0/2/27029178/antrim_michigan_forensics_report_\[121320\]_v2_\[redacted\].pdf](https://depernolaw.com/uploads/2/7/0/2/27029178/antrim_michigan_forensics_report_[121320]_v2_[redacted].pdf)

¹²¹ "2002年FEC投票システム基準からの抜粋 - 3.2.1 精度要件"ミシガン州長官。

¹²² "Document Retention Schedule, May .

https://www.michigan.gov/documents/sos/Document_Retention_Schedule_412493_7.pdf

¹²³ スペリー、ポール"ジョージアの不正投票バイデンの20000票急増の不思議なケース"*The Citizen*, November 15, 2020. <https://thecitizen.com/2020/11/15/georgia-voting-irregularities-the-curious-case-of-bidens-20000-vote-surge/>.

¹²⁴ Parks, Miles, "Why Some Mail-In Ballots Are Rejected As Invalid" *NPR*, October 4, 2020.

<https://www.npr.org/2020/10/04/920175418/why-some-mail-in-ballots-are-rejected-as-invalid>

¹²⁵ Livingston, Doug, "Why absentee ballots get rejected, and how to make yours count," *USA Today*, September 21, 2020. <https://www.beaconjournal.com/story/news/2020/09/21/why-absentee-ballots-rejected-presidential-and-other-elections/3486553001/>.

¹²⁶ Livingston, Doug, "Why absentee ballots get rejected, and how to make yours count," *USA Today*, September 21, 2020. <https://www.beaconjournal.com/story/news/2020/09/21/why-absentee-ballots-rejected-presidential-and-other-elections/3486553001/>.

¹²⁷ 選挙支援委員会「選挙管理と投票調査；米国議会への報告書」2016年

https://www.eac.gov/sites/default/files/eac_assets/1/6/2016_EAVS_Comprehensive_Report.pdf.

¹²⁸ バロットペディア『選挙結果、2020年。否決された投票用紙の分析』、2020年12月11日。

https://ballotpedia.org/Election_results,_2020:_Analysis_of_rejected_ballots

も参照してください。

ネバダ州長官室

バーバラ・K・セガヴスケ「2020年総選挙の投票率メール投票情報」<https://www.nvsos.gov/sos/home/showdocument?id=9058>

¹²⁹ 選挙支援委員会「選挙行政と投票調査；米国議会への報告書」2016年

https://www.eac.gov/sites/default/files/eac_assets/1/6/2016_EAVS_Comprehensive_Report.pdf.

¹³⁰ *Ballotpedia*, "Election results, 2020: Analysis of rejected ballots," December 11, 2020.

https://ballotpedia.org/Election_results,_2020:_Analysis_of_rejected_ballots

も参照してください。

U.S. Elections プロジェクト, "Pennsylvania Early Voting Statistics," November 20, 2020.

<https://electproject.github.io/Early-Vote-2020G/PA.html>

¹³¹ 選挙支援委員会「選挙管理と投票調査；米国議会への報告書」2016年

https://www.eac.gov/sites/default/files/eac_assets/1/6/2016_EAVS_Comprehensive_Report.pdf.

¹³² The Superior Court Of Fulton County State Of Georgia, *Trump v. Raffensperger*, December 4, 2020,

<https://www.democracydocket.com/wp-content/uploads/sites/45/2020/12/Trump-v.-Raffensperger.pdf>.

例えば、ペンシルバニア州では、不在者投票・郵送投票の4票のうち3票がジョー・バイデンに送られた

<https://www.inquirer.com/politics/election/mail-ballots-pennsylvania-election-trump-biden-20201119.html>

ウィスコンシン州ミルウォーキーでは、不在者投票・郵送投票の84%がジョー・バイデンに投票された

<https://www.tmj4.com/news/election-2020/no-joe-biden-did-not-get-100-percent-of-all-milwaukee-absentee-ballots>

¹³⁴ Heine, Debra, "Mathematician Says Biden May Have Received 130 Percent of Democrat Vote in Maricopa County, Arizona," December 2, 2020. <https://themichiganstar.com/2020/12/02/mathematician-says-biden-may-have->

[received-130-percent-of-the-democrat-vote-in-maricopa-county-arizona/](#)

135 ラッセル・Rの宣誓供述書 テキサス州ダラス郡2020年11月17日

https://www.courtlistener.com/recap/gov.uscourts.gand.283580/gov.uscourts.gand.283580.7.1_2.pdf

¹³⁶ *Milwaukee City Wire News Service*, "Analysis.Milwaukee 5 wards report 89% turnout in 2020 presidential vote; Biden nets 146K votes in city" November 4, 2020. <https://mkecitywire.com/stories/564495243-analysis-seven-milwaukee-wards-report-more-2020-presidential-votes-than-registered-voters-biden-nets-146k-votes-in-city>.

¹³⁷ *Milwaukee City Wire News Service*, "Analysis.Milwaukee 5 wards report 89% turnout in 2020 presidential vote; Biden nets 146K votes in city" November 4, 2020. <https://mkecitywire.com/stories/564495243-analysis-seven-milwaukee-wards-report-more-2020-presidential-votes-than-registered-voters-biden-nets-146k-votes-in-city>.

¹³⁸ Duda, Jeremy. "GOP lawsuit questions 'duplicate' ballots in Queen Creek, San Tan Valley Sentinel, November 27, 2020. https://www.pinalcentral.com/san_tan_valley_sentinel/local_news/gop-lawsuit-questions-duplicate-ballots-in-queen-creek/article_e9557d0-97e4-53e9-a269-5beb4b64370a.html.

¹³⁹ マリコパ郡のアリゾナ州高等裁判所において、*Kelli Ward v. Constance Jackson et al*, November 24, 2020. <https://assets.documentcloud.org/documents/20417265/ward-v-jackson-complaint-and-petition-for-discovery.pdf>.

¹⁴⁰ *Voter Integrity Project*, "Anomalies in Vote Counts and Their Effects on Election 2020" November 24, 2020, <https://votepatternanalysis.substack.com/p/voting-anomalies-2020>.

¹⁴¹ *Voter Integrity Project*, "Anomalies in Vote Counts and Their Effects on Election 2020" November 24, 2020, <https://votepatternanalysis.substack.com/p/voting-anomalies-2020>.

¹⁴² *Voter Integrity Project*, "Anomalies in Vote Counts and Their Effects on Election 2020" November 24, 2020, <https://votepatternanalysis.substack.com/p/voting-anomalies-2020>.

¹⁴³ *News Now*, "Michigan Republican Electors Harassed And Forced To Change Vote", November 18, 2020. https://www.youtube.com/watch?v=YWIYzQY_1Ro.

Dowling, M. "Michigan's biggest county refuses to certify election - Update, evil wins, *Independent Sentinel*, November 17, 2020" <https://www.independentsentinel.com/michigans-largest-county-refuses-to-certify-the-election/>
また、参照してください。

政治経済研究所, "Wayne County Michigan Withdraws Election Certification, Security Expert Concludes Michigan Was Stolen." <https://www.newsbreak.com/news/2105758771365/wayne-county-michigan-withdraws-election-certification-security-expert-concludes-michigan-was-stolen>.

¹⁴⁴ Pentchoukov, Ivan, "Illegal Money-For-Votes Raffles Conducted in several States in 2020 Election" December 1, 2020. https://www.theepochtimes.com/illegal-money-for-votes-raffles-conducted-in-several-states-in-2020-election_3598915.html

¹⁴⁵ バロットペディア「州議会の党派構成」2020年12月4日
https://ballotpedia.org/Partisan_composition_of_state_legislatures.

¹⁴⁶ テキサス州対ペンシルバニア州、ジョージア州、ミシガン州、ウイスコンシン州, "Motion for Leave to File Bill of Complaint," December 7, 2020年。
https://www.supremecourt.gov/DocketPDF/22/220155/162953/20201207234611533_TX-v-State-Motion-2020-12-07%20FINAL.pdf pg.1

¹⁴⁷ テキサス州対ペンシルバニア州連邦、ジョージア州、ミシガン州、ウイスコンシン州, "Motion for Leave to File Bill of Complaint," December 7, 2020.
https://www.supremecourt.gov/DocketPDF/22/220155/162953/20201207234611533_TX-v-State-Motion-2020-12-07%20FINAL.pdf pg.1

Ballotpedia, "Partisan composition of state legislatures," December 4, 1482020.
https://ballotpedia.org/Partisan_composition_of_state_legislatures